

決算特別委員会の現地視察を分科会ごとに行ないました

分科会	期日	視察先	視察内容
総務分科会	9月26日	クリーンセンター	資源物受入れ状況など
		模擬原爆投下位置（市内長崎町内）	核兵器廃絶平和推進事業
		アルフォーレ	雨漏り等の対応
文教厚生分科会	10月3日	スポーツハウス	改修の確認
		ソフィアセンター	図書館施設整備事業
産業建設分科会	9月29日	国道8号バイパス宝田遺跡調査箇所	遺跡調査進捗状況確認
		国道8号バイパス剣野トンネル工事箇所	工事進捗状況確認
		高田地区園場整備箇所	園場整備現地確認



総務分科会で「模擬原爆投下位置」を視察しました。越後線の線路のすぐ近くです。



神山町での会派視察の様子。
サテライトオフィスなどを
視察しました。

参加した視察・研修

期間	場所	内容	
<委員会視察> 7月19日(火) ～21日(木)	茨城県 東京都 群馬県	つくば市 千代田区 練馬区 前橋市	日本一の教育のまち、小中一貫教育の先進的取組 高校生医療費助成 廃校を利用した福祉施設こども発達支援センター 生活困窮者への学習支援
<会派視察> 7月27日(水) ～28日(木)	上越市 長野県	上越市 飯綱町 小布施町	地域活性化に向けたNPO法人と行政との関わり方 町民による政策サポーター会議により政策を提言 小布施若者会議による町の活性化への提言
<会派視察> 8月24日(水) ～26日(金)	愛媛県 徳島県	伊方町 神山町 上勝町	原発との共存、風力発電の取組 サテライトオフィスなどによる町づくり ごみ0宣言(ゼロウェイスト)の取組
<全議員研修> 10月13日(木) ～14日(金)	柏崎市	姉妹都市の東京都東村山市議会との合同研修(隔年で実施) テーマ:議会改革について	

※重野まさきのホームページに詳細を載せてありますのでご覧ください。

*12月定例会議の予定

12月定例会議の日程は当初の予定から2週間ほど遅らせ、以下のように変更されました。

12月19日(月)～1月13日(金)

1月6日(金)・10日(火)が一般質問

「重野まさき後援会」への入会を募集しています。ホームページからも入会できます。

後援会
事務所

0257-24-1671

ホームページ

<http://www.m-shigeno.net>

E-mail

info@m-shigeno.net

★重野正毅はフェイスブックもしています★

人を、まちを、未来を、つなげる

重野まさき通信

第7号

平成28年11月1日発行



発行:重野まさき後援会
事務所:〒945-0072 柏崎市北園町19-47
連絡先:0257-24-1671
発行責任者:入澤 稔 [後援会内部討議資料]

暑い熱い夏が終わり、あっという間に冬の到来を感じる頃になりました。皆様おかわりなくお過ごしでしょうか。日頃から重野議員の活動にご理解ご支援いただき、誠にありがとうございます。

9月定例会議終了

会田市長にとっては最後の定例会議でした。
補正予算等議案の審議は大きな問題もなく可決しましたが、要望書では否決されたものもありました。

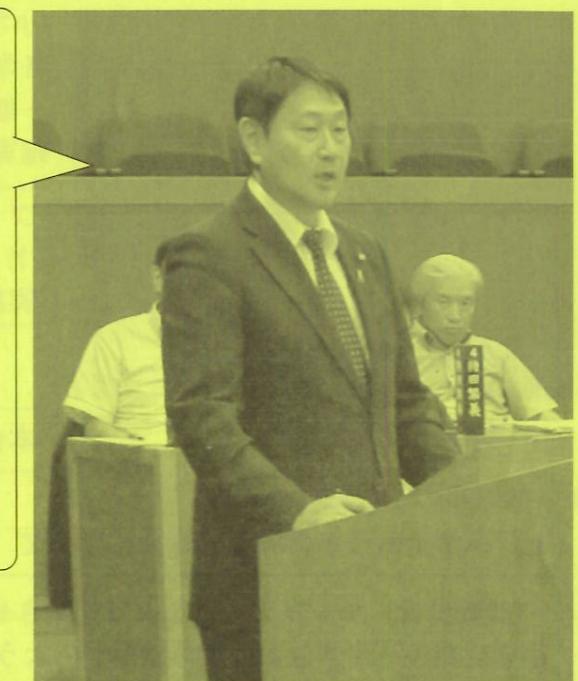
平成27年度決算を認定しました

決算特別委員会では各分科会で視察をしたり、各事業を十分審査したうえで認定しました。



産業建設分科会では国道8号バイパス剣野トンネル工事箇所を視察しました。

一般質問の様子。毎回行っており、議員になってから今まで6回目です。



かしわざき子ども議会

小学生お仕事体験塾

子どもたちのキャリア教育の充実のため、今年度は「小学生お仕事体験塾」に柏崎市議会として出店しました。議会としては初めての取組でしたが、31人の小学生の参加があり、好評でした。



市の当局からの報告事項

各常任委員会へ市の当局から議案とは別に報告事項が毎回上がっています。その中で今後も注視していきたい事項について記します。いずれも文教厚生常任委員協議会で報告されたものです。

○北園体育館廃止

- 平成29年3月31日(今年度いっぱい)をもって利用を中止する。築39年の建築物であり、耐震補強もなく、現在は屋根の軒板が腐食しており強風により剥がれ落ちる危険もある。
- 平成29年度中に解体をするが、その後地の利活用については、まったくの未定。

*重野議員からの質疑 → 現状は理解するところである。しかし、

北園体育館のことだけでなく、柏崎市としての「スポーツ振興計画」を策定し、それに基づいた「体育施設の適正配置」を検討するべきと考える。健康寿命の延伸、避難所の視点からも施設は必要。

北園体育館



◎フッ化物洗口の今後の取組

- ・当局としてはフッ化物洗口へのデメリットはないと考えている。
- ・市内の全小中学校へ実施についての説明会を実施した。アンケートをとった結果、フッ化物洗口を希望すると90%以上の保護者が回答した。
- ・12月の定例会議に補正予算を計上し、今年度中に必要な器材や薬剤等を手配する。来年6月からの市内小中学校の一斉実施を計画している。

*重野議員からの質疑 → フッ化物洗口にすべて反対という立場ではない。実施するのであれば、他市の動向を十分に確認し、他市でも行っているような市内小中学校で取り組む年度に差をもたせたり（小学校での実施後、状況を検証したのち中学校へ広げる自治体が多い）各学校の判断に任せるような実施方法を認めてほしい。さらに、一般質問でも取り上げた通り、実施する各学校への人的配慮を確実に行い、安全対策に万全を期してほしい。



<一般質問の内容>

1 柏崎市の学校教育等について

(1) 小学生お仕事体験塾の今後について

(質問要旨) キャリア教育をより充実させていくためには、小学生期の「小学生お仕事体験塾」のような体験活動の場が必要だと考える。①今年度の小学生お仕事体験塾と中学生お仕事創生塾の大まかな評価。②来年度はこの「お仕事体験塾」を教育委員会主催で行ってほしい。③さらにキャリア教育の充実を図る上で教育委員会内にキャリア教育専門の担当者を設けると、柏崎市教育大綱の目的達成にも効果的だと考える。

(教育部長答弁抜粋) ①小学生は600人ほど、中学生は33名の参加。両方とも肯定的評価がほとんど高い評価を得たこともあり、目的は概ね達成できたと考える。②キャリア教育の推進は教育大綱に大きくつながると考える。この重要性を教育委員会でも認識しており、今後も継続していくべきと考えている。教育委員会だけでなく他の団体と協力して成り立つものであるので、相談しながら主催になるのか実行委員会方式をとるのかを考えていく。③担当者の配置についても考えていく。今後も学校におけるキャリア教育の充実を重点事項として取り組んでいく。

(2) 中学生メディア宣言について

(質問要旨) 昨年度「中学生メディア宣言」を発表した。目的はメディアを制限することではなく、「自分の生活を設計、行動していくために自分をコントロールして、けじめのある生活を送る」と明記している。この宣言を子どもたちだけでなく保護者や大人へも広く浸透させていくため、今後柏崎市がより前面に出て働きかけを行ってほしい。

(教育部長答弁抜粋) 学校と情報交換をしたり、各種たよりなどで広報したりしてその機運を高めたい。柏崎市青少年健全育成市民会議や小中学校PTA連合会など5団体で組織している「子どもとメディアを考える会」が、「大人宣言として携帯スマート等に関する共同宣言」を採択した。中学生の活動を応援する宣言として今後もこの宣言の普及と活用を期待している。今後もこの活動を一過性のものとしないでいきたい。



(3) 中学生への英語検定受検料の補助について

(質問要旨) 英語の学力は「中学卒業時に英検3級程度以上が50%」を達成するのが国の成果指標。今年4月の発表で、英検3級以上の英語力をもつ中学3年生は全国平均で36.6%、英検3級取得者の割合は18.9%。新潟県では英検3級以上の英語力をもつ割合が30.5%、英検3級取得者の割合は14.7%となっている。①柏崎市の昨年度の中学生での英検3級取得者の割合。②全国いくつかの自治体では英検受検時の検定料の補助を行っている。柏崎市でも特に英語力の向上の一つの手段として、英検の受検料の補助に取り組んでほしい。



(教育長答弁抜粋) ①昨年度の柏崎市で英検3級以上程度の英語力をもつ生徒の割合は32.1%、英検3級を取得した生徒の割合は16.8%。県平均より高いが、全国平均には届いていない。②ALTの配置や円滑な学びの移行を目指す小中連携などを行っており、日々の授業の充実を図る取り組みを継続していく。英検の受検については英語力や学習意欲の向上につながる手段の一つとらえている。しかし、他の検定との関わりや個人のスキルアップへの補助という観点から、検定料の補助については現時点では慎重にならざるを得ない。

2 ジョギングパトロール防犯活動について

(質問要旨) 日頃からジョギングや散歩などを自分の生活の中のルーティーンとしている方々に、少しでもいいので防犯の意識をもってもらったり、住民の方々の防犯への関心を高められるといいと考える。この取り組みの目的を「市民の防犯意識の高揚と防犯活動への関心の醸成」とし、特に強制した活動もなく、ノルマもなく、走ったり散歩したりする活動の時にビブスやTシャツを着るだけにすると、参加者の負担も少なく気軽に取り組めると思う。柏崎市としてもスポーツを日常の生活の一部としている方が少ないとあるので、このような防犯活動を取り組んでほしい。

(市長答弁抜粋) 当市の防犯まちづくり条例に基づいて、平成28年度から5か年計画の第2次防犯まちづくり推進計画を策定した。防犯活動に有効な具体的な取組として、子どもたちの防犯力を高める「地域安全マップづくり」や防犯パトロールの視点をもった「ながらパトロール」を実施している。ながらパトロールの具体策としてジョギングパトロールやわんわんパトロールなど日常生活の中で、地域のパトロールを行うことが安全安心なまちづくりに非常に有効だと考える。今の質問の中でよい提案をいただいたので今後ジョギング防犯パトロールについて研究していく、地域での取り組みを呼びかけながら広げていきたい。



*市内全町内で「空き家」調査を行います

今年度、都市整備部建築住宅課の計画に従って、市内全町内で「空き家」の調査を行っています。特に危険な空き家（「特定空き家」といいます）を中心に、今後どのようにしていくのかを検討していくます。調査結果については、集計がまとまった時点で各町内会にお知らせすることになります。

「重野まさき議員を囲む会」を実施します。12月3日（土）16:00から柏崎ワークプラザで行います。詳細はホームページで後日お知らせしますので、参加ご希望の方はホームページをご覧いただき、お問い合わせください。大勢の皆様からのご参加をお待ちしております。（ホームページはヤフーやグーグルなどの検索サイトで「重野正毅」と入力してオフィシャルサイトを選びます）